

ケンタッキー・ブリューグラス

お庭を美しい芝生に

栄えある東京オリンピックを迎え、国土の美化が行なわれましたが、この機会に私達も各自の環境を見直し庭園を美しく楽しいものになりたいものです。

最近、西洋式の緑の芝生をとり入れた庭がふえてきました。西洋芝は日本芝（張り芝）と異り、種子を播く方法ですから誰でも簡単にしかも安く造ることができます。

西洋芝にはいろいろの種類がありますが、その中でケンタッキー・ブリューグラスは最も一般的で、北海道では芝生として良く見られる草種です。

ケンタッキー・ブリューグラスの特性

葉が細く柔らかく、草の色が大変美しく、刈取りを行わない場合は草丈60センチ前後まで伸びるが、刈取後の再生早く、芝草として非常に秀れています。地下茎によって匍匐する性質をもち、地下茎は30センチに達し禿地を覆い、密な芝地を形成します。

冷涼な気候を好み、夏期の暑さと日照りには弱いので、そのころは適宜灌水を行ない、また強度の刈込みも避けなければなりません。現在かなり暖地の方まで芝生、運動場、空港、ゴルフリンク等に用いられています。

生存期間は極めて長い永年植物で、アメリカの記録では60年以上のものが知られています。わが国における自然分布も北は北海道から南は九州に至るまで自生状態になっています。

芝生の作り方

土地の整地 十分深く耕し、土塊を細かに碎いて下さい。石、木片や雑草の根なども丁寧に取り除くことが大切です。特に雑草の混入は芝生造成の後に悪影響を及ぼしますから徹底的に行なうべきです。

肥料 元肥として、よく腐熟した堆肥を3平方メートル（1坪）当たり5リットルを土をおこす時に鋤き込みます。その時骨粉とか油粕を入れると更に結果は良好です。

播種 春・秋いずれでもよく、土の乾かないうちに行ないます。播種量は100平方メートルに1.5キログラムが適量です。播種は縦横2回繰返すようにしてむらなく行ない、その後、竹箒で地表をかき混ぜ軽いローラーで鎮圧します。

刈り込み 草丈が10センチ位になったら、よく切れるローンモアー（芝草刈器）で第1回目の刈り込みを行ない、その後、最盛期には1～2週間に1度刈り込みます。

追肥 春先に油粕と魚粕の粉末を4対2の割合で芝生全面に散布します。

灌水 夏の暑い時などは、芝生の全面に灌水します。家庭用のスプリンクラーなどを用いますと、大変眺めても涼しい感じをおこさせ、西洋なみの景観となるでしょう。

追播 もし禿地が多く生じた場合には、春か秋にその地表をかき耕し、前と同様に追播きしていただきます。

